令和６年度実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■活動概要

助成団体	埼玉県加須市
間接助成団体	平成国際クラブ設立準備委員会
事業細目名	総合型地域スポーツクラブ創設支援
事業名	平成国際クラブ設立準備委員会
助成金額	864,000 円

■調査内容

令和６年度総合型地域スポーツクラブ活動助成（創設支援事業）で埼玉県加須市の間接助成団体である「平成国際クラブ設立準備委員会」が行っている事業の実施状況について調査を行いました。

平成国際クラブは令和７年４月１日の総合型クラブの設立を目標に、令和６年４月に設立準備委員会が立ち上げられました。元々は２００７年頃から総合型クラブの設立の話があり、平成国際大学との連携で加須市の高齢化からスポーツを通しての健康づくりを主とした目的として、総合型クラブの推進計画がありました。しかしながら、当時計画を進めていた担当者の異動や、その後のコロナ禍の影響もあり計画が進まずにいましたが、今年度より改めてスタートすることとなりました。

今回の調査ではボッチャ交流会を見学しました。交流会は大学祭に合わせて実施され、高齢者、障がい種別の異なる方、そして外国籍の方など多様な約７０名が大学の施設内の場所で６グループに分かれてトーナメント大会形式の試合を行いました。また、大会参加者は初心者が多かったことから、事前にスタッフからルール説明や練習を行う時間が設けられるとともに、参加者が多くゲームをできる仕組みであったことから、参加者同士がゲームを通して作戦を立てたり、会話を交わして交流を深めていました。

■助成の意義

くじ助成を受けることで、交流会やスポーツ教室での指導者への謝金の支払いや、ボッチャ交流会の開催等に必要なスポーツ用具の購入をすることにより、今後のスポーツ教室の準備や交流イベントにおける満足度の向上、主に高齢者や障がい者の方の参加の拡大に繋がっているようです。また、チラシの作成やクラブの HP の作成による認知度の向上で、広い広報活動が可能になるとのことです。

■事業効果を高めるための取り組み

事業効果を高めるために、まずは会員の獲得のためにイベントの無料体験会の開催を計画や、交流会用のチラシを作成し、そして今後は HP の作成も検討しているそうです。また、加須市の協力のもと、市の広報誌に掲載してもらうことでクラブの認知度を高めていきたいとのことです。

特に今回の交流会場であった大学が教室等の実施場所の提供、並びにボランティアスタッフ、

そして今後検討されている教室等の指導者人材の供給源として重要な役割を担うことが期待されます。

■その他

設立準備委員会は、月１回開催されており、今後は今回のような交流会としてダンス、陸上といったイベントの開催予定をしています。

将来の総合型クラブ設立後は中高年向けの体操、ボッチャ、子ども向けのダンスといった教室の開設を計画しており、今後５年で１０種目程度に増やす構想もあるようです。また、高齢者や子どものみならず、特別支援学校後の居場所づくりとして障がい者の方も参加しやすい環境づくりに力を入れているようでした。

クラブの課題としては、加須市という土地柄交通の便が悪く、今後の開催予定である教室への参加の影響や、総合型クラブを立ち上げるにあたり、教室の指導者の確保が課題として挙げられておりました。

■所感

今回調査した平成国際クラブは大学と連携し、大学の敷地を使用できるなどのメリットも生かし、今後は地域に向け幅広く活動していきたいといった状況でした。また、設立準備委員長からの聞き取りでは、イベントや教室活動の開催において、高齢者の健康維持の場や障がい者の方が参加しやすいコミュニケーションの場として活動していきたいという熱意がありました。

今後の総合型クラブ設立に向け、地域住民との交流イベントや教室活動を通じて幅広い年代がスポーツを楽しめるクラブとして発展していくことを期待しています。

（令和６年１１月９日往査）

（写真）ボッチャ交流会の様子	
	